

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービスまはる天久		
○保護者評価実施期間	令和7年 3月 5日		～ 令和7年 3月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31 (内3兄弟あり)	(回答者数) 24
○従業者評価実施期間	令和7年 3月 5日		～ 令和7年 3月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10 (内1人産休)	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 20日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童へ寄り添った計画と支援がされている	帰りの引継ぎやモニタリングなどでもまはるでの様子・学校での様子・ご自宅での様子を基に共通問題点を抽出しアプローチするための計画を実施	定期的な評価や出来事などにより変化について把握できるようにしている
2	引き継ぎや情報共有により日々の支援を感じられる	引き継ぎにて具体的なイベントを客観的に伝えてご自宅での同様イベントがあるかなどの確認と対応方針を考察を基に伝えている(良い点悪い点ともに)	継続的に発生している場合はスタッフごとに対応を決めるもしくは中心スタッフを配置してアプローチ
3	課題のバリエーション(クッキングを中心に)	火曜日木曜日以外はローテーションで課題を変更しており1つ1つの課題内容を同じにせず新鮮な気持ちで参加できるようにしている	4月の新体制にてそれぞれのスタッフの得意部分を活かせるようにする 休日はイベント(地域行事や商業施設お祭りなど)への参加を中心に活動

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動内容に関する周知が疎い	課題に参加していない児童は地域イベントなどへの参加をしている場面を分らない	半年に1度の保護者様会や半年の振り返り動画撮影をして公表して取り組みを周知していく
2	アプローチに関する手技や手法や考え方を共有できていない	引き継ぎやモニタリングなどで保護者様と関わる機会が少ない スタッフ間の共有のみでとどめている 説明できる知識量と技術	保護者会での説明や資料作成や動画などで周知していく

3	評価されずにわからない・どちらともいえないと回答されている	評価項目を前もって周知できていないため 活動内容を周知する媒体や形式を確立できていない	評価項目を前もって周知と項目の説明資料の作成 事業所では評価されるための活動を確立する
---	-------------------------------	------------------------------------------------	------------------------------------------------